

都市再生整備計画 事後評価シート
本庄駅周辺地区

令和3年3月

埼玉県本庄市

様式2-1 評価結果のまとめ

※社会資本総合整備計画の効果促進事業を含む

都道府県名	埼玉県		市町村名	本庄市		地区名	本庄駅周辺地区			面積	102ha			
交付期間	平成25年度～平成29年度		事後評価実施時期	令和2年度		交付対象事業費	2,239百万円	国费率	0.5					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	A基幹事業	都市再生整備計画	市民プラザ跡地複合施設建設事業【高次都市施設(地方都市リノベーション事業)、市立図書館改修事業【既存建物活用事業(地方都市リノベーション推進施設)】										
		B関連社会資本整備事業		-										
		C効果促進事業		-										
	当初計画から削除した事業	A基幹事業	都市再生整備計画	-		-		-		-				
		B関連社会資本整備事業		-		-		-		-				
		C効果促進事業		-		-		-		-				
	新たに追加した事業	A基幹事業	都市再生整備計画	-		-		-		-				
		B関連社会資本整備事業		-		-		-		-				
		C効果促進事業	市民プラザ跡地複合施設太陽光発電設備等整備事業、市民プラザ跡地複合施設建設事業(PRコーナー、個別学習ルーム等の整備)、本庄駅自由通路等改修事業、耐震性防火水槽設置事業	-		-		-		施設利用者の増加や対象地区における回遊・滞在を促進する等、目標達成のため。 なし				
	交付期間の変更	当初変更	平成25年度～平成29年度	-		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし						
2)目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	市民交流施設の年間利用者数 ※市民交流施設の正式名称は本庄市市民活動交流センター	人/年	139,283	H22	150,000	R1	モニタリング	評価値	○	あり	誰でも気軽に利用できる交流スペース、個別学習ルーム、カフェ・ショップ等が設置されたことで、個人で気軽に立ち寄り、時間を過ごすことができ、それが貸室の利用等につながり、従前の市民プラザ、公民館、コミュニティセンターを上回る利用を得られ、利用者の増加に至ったと考えられる。	-	
				なし	-									
	指標2	都市再生整備計画(本庄駅周辺地区)の区域内の人口	人	5,748	H23	5,800	R1	5,110	△	あり	市民交流施設の設置と市立図書館本館の改修が行われ、周辺地域のオープンスペース等が整備されたものの、5～7年間の期間において人口に対して効果が発現することは容易ではなかったと言える。ただし、人口は減少しているものの社会増となっている町丁目も多く、市内近郊においては居住地として選ばれる地域であると言える。	-		
				なし	●									
	指標3	市立図書館(本館及び児玉分館)の年間利用人数	人/年	102,029	H23	110,000	R1	88,121	△	あり	市立図書館(本館及び児玉分館)での年間利用人数は減少しているが、市人口の減少が反映されたとも考えられる。ただし、市立図書館本館は改修の結果、災害対策やバリアフリー化等を図り、機能も充実したため、利用人数の減少は軽微であり、資料の貸出人数は一定水準で推移している。	-		
				なし	●									
	3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
		その他の数値指標1		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 市立図書館本館は改修の結果、災害対策やバリアフリー化が図られたほか、機能も充実した。利用者数は改修以前から減少傾向が続いているものの、利用者の満足度は高い。 市民交流施設や市立図書館本館により、対象地区の環境が整備されたことで、本庄駅周辺の回遊性につながった。 本庄駅自由通路に情報発信のための媒体を得られたこと、またインフォメーションセンターも改修したことで、駅利用者に対象地区、並びに本庄市の魅力をより発信する環境が整備され、市民交流施設等の利用者促進につながった。 												

5)実施過程の評価	実施内容	実施状況			今後の対応方針等
モニタリング	①市民意識調査の実施(市立図書館本館開館時間の延長ニーズ把握) 【実施時期】平成30年1月18日～1月28日 【回答数】計424件 ②市民意識調査の実施(貸出・予約等市立図書館本館サービス内容について) 【実施時期】平成30年9月1日～9月11日 【回答数】計255件 ③市民意識調査の実施(市立図書館本館情報の取得方法、開館時間の満足度) 【実施時期】令和元年9月4日～16日 【回答数】385件	都市再生整備計画に記載し、実施できた	—	●	実施結果を踏まえ、市立図書館本館の利用者満足度の改善に努める。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	—		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	—		
モニタリング	市民意識調査の実施(市民プラザ跡地複合施設建設事業に伴う利用者満足度の把握) 【実施時期】平成29年9月1日～平成29年9月29日 【回答数】計146件	都市再生整備計画に記載し、実施できた	—	●	実施結果を踏まえ、市民交流施設の利用者満足度の改善に努める。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	—		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	—		
住民参加プロセス	公共施設再配置及び複合施設機能検討懇談会 【実施頻度】計3回 【実施時期】平成24年1月～平成24年8月 【実施内容】公共施設再配置及び複合施設の機能について市内各分野の団体(21名)との懇談会。	都市再生整備計画に記載し、実施できた	—	●	懇談会の意見を踏まえたうえで、当該事業の整備を実施した。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	—		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	—		
住民参加プロセス	市民プラザ跡地複合施設建設事業における基本設計ワークショップ 【実施頻度】計3回 【実施時期】平成24年5月～平成24年7月 【実施内容】市民プラザ跡地複合施設建設にあたり、中央公民館、コミュニティセンター利用者(16名)へ新たな施設でどのような活動を行いたいかの聞き取り、協議等を行った。	都市再生整備計画に記載し、実施できた	—	●	ワークショップの意見を踏まえたうえで、当該事業の整備を実施した。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	—		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	—		
住民参加プロセス	市民プラザ跡地複合施設建設事業における管理運営ワークショップ 【実施頻度】計23回 【実施時期】平成25年7月～平成27年5月 【実施内容】利用が想定される団体やまちづくり活動団体(17名)管理運営に関する様々なことを協議した。	都市再生整備計画に記載し、実施できた	—	●	ワークショップの意見を踏まえたうえで、当該事業の整備を実施した。今後は市民との協働による整備箇所を活用方法について検討していく。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	—		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	—		
住民参加プロセス	自由通路改修事業で移転を行った本市インフォメーションセンターの愛称及びロゴマークの住民投票 【実施回数】1回 【実施時期】令和2年2月3日から令和2年2月17日まで 【投票者】市民及び本庄駅利用者 【実施内容】市役所、児玉総合支所、市民活動交流センター、インフォメーションセンターに候補4案をパネルに表示し、最もふさわしいものを選んでいただき、市民に親しまれる愛称とロゴマークを決定した。	都市再生整備計画に記載し、実施できた	—	●	投票により決定した愛称やロゴマークを使用することにより、市民に親しまれる施設にするとともに、観光物産販売所の使用する商品用紙袋、店舗内ディスプレイ、従業員のユニフォームのネームプレートなどに使用することにより、施設内を統一的なデザインにすることでインフォメーションセンターのブランディングを行っていく。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	—		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	—		
持続的なまちづくり体制の構築	—	都市再生整備計画に記載し、実施できた	—	—	—
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	—		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	—		

様式2-2 地区の概要

※社会資本総合整備計画の効果促進事業を含む

本庄駅周辺地区(埼玉県本庄市) 都市再生整備計画事業等の成果概要				
まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
本庄駅周辺を中心とした交通便利性の高い市街地に、子育て世代から高齢者まで多彩な年代の定住化を促し高水準な都市を再構築するため、安全で安心して暮らせるまちづくりを目指すとともに、市民活動や生涯学習を通じて居住の安心を提供し、高質な空間・施設の整備により回遊・滞在の楽しさを感じることでできるまちづくりを推進し「まちなか再生」を図る。また併せて、環境に配慮したまちづくりを実施することで将来に渡って持続可能な都市を構築する。	市民交流施設の年間利用者数	単位：人/年 139,283 H22	150,000 R1	187,236 R1
	都市再生整備計画(本庄駅周辺地区)の区域内の人口	単位：人 5,748 H23	5,800 R1	5,110 R1
	市立図書館(本館及び児玉分館)の年間利用人数	単位：人/年 102,029 H23	110,000 R1	88,121 R1
<p>市民プラザ跡地複合施設建設事業★▲ 市民交流施設 (はにぼんプラザ)</p>   	 <p>凡例 ★ 都市再生整備計画 基幹事業 ● 都市再生整備計画 関連事業 ▲ 効果促進事業</p>	<p>市立図書館改修事業★</p>   	<p>本庄駅自由通路改修事業▲</p>   	
まちの課題の変化	<p>①「安全で安心して暮らせるまちづくりを目指す」という目標に対しては、本計画では市民交流施設に防火水槽を設置している。しかしながら、対象地区は狭隘道路が少なく、緊急時の避難や緊急車両の進入に課題が残っている。また、見通しのよくない箇所もあり、防犯上の懸念もある。このような状況を踏まえた道路整備や防火水利等の防災設備のさらなる充実が求められる。同時に住民の防災・防犯意識の向上を図り、地域における防災・防犯活動(共助)を活性化するとともに、木造住宅の耐震化などの自助にも取り組むよう促すことも必要である。</p> <p>②「回遊・滞在の楽しさを感じることでできるまちづくりを推進する」という目標に対しては、市立図書館本館の大規模改修と、市民交流施設の建設を行うことで生涯学習・市民活動の場をつくり、情報発信機能を有する本庄駅自由通路の整備も行った。今後は、市立図書館本館と市民交流施設を対象地区の魅力として発信し、来街の動機づけとすることが求められる。さらに、「まちの玄関口」となる本庄駅前を整備することで駅からまちの人の流れをつくり、さらに駅と施設、歴史的建造物をはじめとする観光資源を結ぶ街路空間を歩きやすく、楽しめる歩行空間へとすることで回遊・滞在を促し、中心市街地に相応しい暮らしやすさや活気のあるまちへと発展させていくことが求められる。</p> <p>③「環境に配慮したまちづくりを実施することで将来に渡って持続可能な都市を構築する」という目標に対しては、太陽光発電設備の設置によって市民交流施設における創エネルギーは可能となったが、同施設の電力使用における太陽光発電の寄与は十分ではない。同施設の省エネルギーを図るとともに、太陽光発電設備の増設を検討することで一層の課題改善を図るとともに、対象地区の家庭や商店での省エネルギー／創エネルギーに取り組み、対象地区全体で環境への配慮に取り組むことが求められる。</p>			
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<p>～対象地区全体でさらなる魅力づくりとコミュニティ形成に取り組み、来街を促し、転居・転入につなげる～</p> <p>本計画では、対象地区において生涯学習・市民活動の場となる施設整備等を行った。今後は本庄駅自由通路の情報発信機能の活用のほか、様々なメディアを複合的に活用してPRを行い、これら施設の利用者をさらに増やしていく。また、施設整備の観点では、本庄駅周辺において気軽に立ち寄り、過ごすことのできる場を設けることによるにぎわい創出や、子育て世代や若年層の暮らしやすさや住む上での楽しさを向上する施設の充実を図っていく。施設の充実とともに、駅と各施設、さらには観光資源を結ぶ「まちづくり」も必要となる。バリアフリー化による歩きやすさの向上はもとより、気楽に立ち寄り、過ごすことのできるオープンスペースや商業施設があり、ときに通行者が楽しめるイベント等が実施されるような歩いていて楽しめる歩行空間の整備を進めていく。そのためには、本市の取組だけでなく、対象地区の住民や事業者等との協力が不可欠であり、市立図書館本館、市民交流施設、本庄駅自由通路をはじめとする諸施設を主体的に活用し、魅力づくりに取り組む住民コミュニティを形成していくことも必要となる。そのような住民コミュニティは、ひいては安全・安心や環境共生にも積極的に取り組むことも期待するところであり、生涯学習・市民活動の場である市立図書館本館と市民交流施設を通じた交流・活動の促進を行っていく。このように、本計画において整備した各施設を活かし、さらなる施設や街路の整備を進め、市民協働によるまちの魅力を高めることで、本市への来街を促し、さらに転入・移住へとつなげることを目指す。</p>			